

手を取りあい未来へ

1月23日(金)、南三陸町(志津川中学校区)「志教育」実践発表会がベイサイドアリーナにおいて開催されました。当区は昨年度から2年間にわたり、県教育委員会より「志教育」支援事業推進地区の指定を受けており、「手を取りあい未来へ」をテーマに小・中・高等学校が連携し、地域とのかかわりを通しての実践教育に取り組んできました。発表会は、志津川小・中・高等学校の吹奏楽部による合同演奏がオープニングを飾り、各校特色のある実践成果をステージ上でスライドを使い披露しました。



海の味覚を堪能

1月17日(土)と18日(日)の2日間、志津川自然の家において「南三陸の香り・味」が開催されました。海の幸を材料にしたくん製づくりや魚のさばき方、カキ・ホタテのむき方を体験することができ、20代から70代の幅広い年代の方が参加しました。むいたカキやホタテはその場で網で焼いて食べ、その他にも鱈汁やイカ焼きなどが昼食として提供され、参加者は海の幸を堪能しました。

第10回南三陸町ジュニア綱引大会 戸倉小チームが初優勝！

2月1日(日)、ベイサイドアリーナを会場に「第10回南三陸町ジュニア綱引大会」が開催されました。この日のために練習を重ねてきた、町内4小学校の4年生以上の子どもたち、10チームが白熱した予選リーグを行い、4チームが決勝トーナメントへ。大人顔負けのチームワークとフォームで決勝トーナメントを制したのは、「戸小ストロングB・G」でした。

◇試合結果 優勝 戸小ストロングB・G
準優勝 志小マネゴッド
第3位 名小ドルフィンズ
敢闘賞 志小6-2



優勝 戸小ストロングB・G



準優勝 志小マネゴッド



第3位 名小ドルフィンズ



敢闘賞 志小6-2

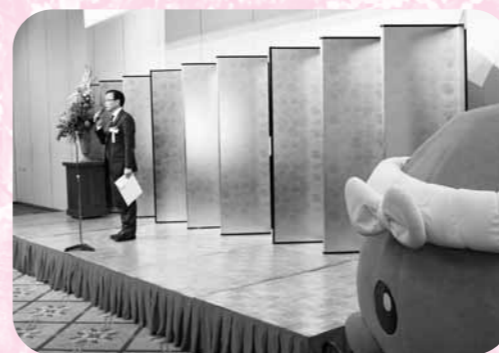


ふるさとづくり大賞 ~総務大臣賞団体表彰受賞~

1月31日(土)、栃木県宇都宮市内のホテルを会場に、「平成26年度ふるさとづくり大賞表彰式」が行われ、「南三陸復興ダコの会」が見事に総務大臣賞団体表彰を受賞しました。

本表彰は、全国各地で、それぞれのところをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、ふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的に、昭和58年度に創設され、今回で32回目となります。

南三陸復興ダコの会は、震災後、全国の皆様から様々な支援を受けるなかで、自分たちの力で復興への一歩を踏み出そうと立ち上がった団体で、復興のシンボルキャラクター「オクトパス君」の制作・販売活動を事業化し、町を元気にするため、雇用の創出や地域振興を図りながら、関連事業として、震災で職を失った住民を対象とした集合内職を運営する「手づくりセンター推進事業」や耕作放棄地を活用した「酪農コミュニティ推進事業」など、入谷地区を拠点に里山を核とした地域づくりが高く評価されました。



原子力防災訓練

1月27日(火)、宮城県及び関係3市4町(南三陸町・女川町・石巻市・登米市・東松島市・涌谷町・美里町)の主催により、平成26年度原子力防災訓練が実施されました。

この訓練は、宮城県沖にて地震が発生し、定格熱出力運転中であった女川原子力発電所3号機が自動停止するも外部電源を喪失、その後、機器故障による全交流電源の喪失などにより内閣総理大臣から原子力緊急事態宣言が発出されるといった主想定の下、実施されたものです。

訓練当日は、国・県・関係市町をつないだテレビ会議、防災行政無線・広報車による放送や緊急速報メールの配信などが行われたほか、UPZ(緊急時防護措置準備区域)の方々の屋内退避訓練、登米市登米総合体育館への一時移転(避難)訓練が行われました。

